

関係各位

国際空手道連盟極真会館坂本派 栃木・群馬県本部
大会実行委員長 茂木幹雄

第 12 回全関東空手道選手権大会開催のご案内

拝啓 春寒の候、皆様にかかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

今年も下記の通り、第12回全関東空手道選手権大会を開催いたします。

本大会は今年 10 月 22 日(日)横浜文化体育館にて開催予定の IBKO 第 9 回全日本空手道選手権大会組手部門の選抜を兼ねております。

幼年部、少年部(初級、中級、上級)及び、中学、高校生の学年、体重別クラスを設け、経験の浅い選手でも気軽に参加できる様細かくクラス分けをし、また壮年階級も年齢、体重を 12 のクラスに分けました。

選手の皆さまには日頃の鍛錬の成果を存分に発揮して頂ける最高の舞台を用意してお待ちしております。奮ってご参加下さいます様ご案内申し上げます。尚、**一般男子上級各クラス優勝者には「武道奨学金」を授与いたします。**

敬具

記

日時 平成29年6月18日(日) AM 9:00 開場・団体受付 9:45 開会式予定
会場 栃木市総合運動公園総合体育館 栃木市川原田町 760 TEL0282-23-2523
主催 国際空手道連盟極真会館坂本派 栃木・群馬県本部大会実行委員会
参加費 6,000 円 (軽食、パンフレット付) ゼッケンは大会当日、各団体一括でお渡しします。
代表枠 上級クラス上位 4 名 (出場申込書★印クラス)
その他 試合規約および判定基準については別紙参照

【注意事項】

1. 試合不成立の категорияは、合併や無くなる場合もあります。変更になった場合は各道場にご連絡致します。
2. 選抜クラスへのエントリーは級による出場制限はありません。
3. 当日(kg 未満)のクラスは各出場コートにて計量します(9:00~9:30)。規定の体重を超えている場合、失格となりますので、申請体重・出場カテゴリーにはご注意ください。**空手衣を着用して+2kgまで認めます。**
4. フリー参加及び道場名の使い分けは認めません。判明次第お断り又は失格となります。但し、流派名非公開は認めます。
5. 大会当日は、総合運動公園内施設で他の競技も多数行われ、駐車場の利用が制限される恐れがありますので極力、乗り合いでのご協力をお願い致します。
6. **出場申込書の各記入項目については誤りのないようご注意願います。**

申込書送付先: 〒321-0968 栃木県宇都宮市中今泉 1-18-1-603

全関東大会事務局 担当 高萩

お問合せ先: TEL(FAX) 028-688-7855

栃木・群馬 HP :<http://www.kyokushin-kanto.com>

※ホームページより出場申込用紙のダウンロードができます。

※申込書および総括表を参加費と一緒に現金書留にて大会事務局宛にお送り下さい。

※一旦納入された参加費に関しては、いかなる理由があろうとも返却されません。

申込み締切 平成 29 年 4 月 16 日(日)事務局必着〆切厳守!

試合規約(国際空手道連盟ルール)

1. 審判基準 審判員および審議委員は同等の権限をもって競技の審査に当たるが、競技に関する最終決定はすべて審判長の裁可による。「一本」「技あり」「反則」「場外」「判定」などの場合、5名の審判員のうち3名以上の判断で有効とする。2名以下及び主審のみの判断は認めない。但し、5名の審判員はそれぞれに意義を申し立て協議する権利を有する。試合の規定時間は以下の通りとする。但し、必要と認められた場合は、審判長の裁量により、あらかじめ時間を設定することもありうる。大会進行は極力、予定スケジュールに沿わせるが、やむを得ない事態が起きた場合は、審判長・審議委員長・副審議委員長が協議の上、審判長が変更を指示することができる。

2. 防具

階級	ヘッドガード	拳サポ	Pグローブ	スネ	ヒザ	金的	胸ガード	試合時間(準決勝まで)
小学生(幼児)	○(前網有)	○	×	○	3年以上○2年以下×	○	3年以上○	本戦1分30→最終1分
中学(高校)男子	○(前網有)	×	○	○	任意	○	×	本戦2分→最終2分
中学女子	○(前網有)	×	○	○	任意	○	○	本戦2分→最終2分
一般(高校)女子	○(前網有)	×	○	○	任意	○	○	本戦2分→最終2分
マスターズ(男子初中級)	任意	×	○	○	任意	○	×	本戦2分→最終2分
一般男子	×	×	×	×	×	○	×	本戦2分→延長2分→最終2分

※決勝戦のみ・本戦→延長→最終延長/一般男子上級【準々決勝以降】本戦3分→延長2分→最終2分

※ヘッドガードとグローブは主催者が用意。その他の防具の貸出は行いません。

※金的ガード・アンダーガードはズボンの内側に着用すること。

※女子胸ガード:小2以下使用禁止。小3以上着用義務。胴全体を覆う形のもの禁止、プラスチック製使用禁止。

※Pグローブ以外のサポーターは白の布製を使用すること。皮革製のサポーターは使用不可。

※女子選手インナーTシャツの色は白限定とします。

※テーピング類は大会医師の許可を得て行って下さい。

※グローブ(指定品)を事前に購入したい方は大会事務局までお問い合わせ下さい。

※幼児～一般女子、ヘッドガード(前網付)装着義務。マスターズ(男子初中級)は着用任意、マウスピース使用を推奨します。

3. 着衣 清潔な空手着を着用し規定のゼッケンを背中中央に貼り付けること。

4. 一本勝ち 反則箇所を除く部分への突き、蹴り、肘打ち等を瞬間的に決め、相手選手を3秒以上ダウンさせるか、戦意を喪失させたとき一本勝ちとする。技あり2本で合わせ一本勝ちとする。

5. 技あり ①反則箇所を除く部分へ突き、蹴り、肘打ち等を決め、相手選手が一時的にダウンもしくは戦意喪失し、3秒以内に立ち上がった時、または倒れはしないがバランスを大きく崩した時は技ありとする。一般男子上級以外の階級はノーガード状態で蹴りがクリーンヒットした場合も技ありとする。中学生以上、上段膝蹴りを有効とする。(小学生以下禁止)
②足掛け技などにより相手をきれいに転倒させ瞬時に下段突きを決めた場合、又は胴廻し回転蹴りをかわし瞬時に下段突きを決めた場合、技ありとする。(審判員の判断により、下段突きが無くても技ありとすることもある。)

6. 判定 一本勝ち、失格がない場合は主審、副審のうち、過半数の審判の判定で決める。

技ありがある場合は、技ありを優先する。技ありがない場合は、ダメージを優先する。ダメージのない場合は、有効打を含めた手数・足数を優先する。有効打を含めた手数・足数が同じ場合は、気迫が勝っている方を勝ちとする。

判定が決まらない場合は延長戦を行い、延長戦でも決着しない場合は最終延長戦で勝敗を決定する。(体重判定なし)

7. 反則 ①手、肘による顔面及び首への攻撃。手先が触れても反則とする場合がある。

②金的蹴り、頭突き。 ③倒れた相手や背後からの攻撃。

④故意に場外に出ること ⑤掌底押し、正拳押し、つかみ、投げ、手掛け、クリンチ。

⑥技の掛け逃げ。(蹴ってすぐに倒れ相手に攻撃をさせない)

⑦倒れこむ様な捨て身の蹴り(回転胴廻し蹴り等)は、1試合1回までとし(本戦1回、各延長1回)

それ以上繰り返す場合は反則とみなす。

⑧その他、審判が反則とみなした場合。

⑨反則行為には注意が与えられ、注意4回で失格となる。注意は先に反則行為を仕掛けた方に与えられる。

⑩悪質な反則の場合は、失格もありうる。

8. 減点 ①注意を2回与えられたとき。②悪質な反則を行ったとき。

③審判の判断により、悪質な試合態度とみなされたとき。④減点2で失格となる。

9. 失格 ①注意を4回重ねたとき。

②審判員の指示に従わず、悪質な試合態度とみなされたとき。

判定時の「雄叫び」「ガッツポーズ」、相手選手に対し「効いてる」「倒せ」等の礼節を欠いた応援は禁止です。

③出場時刻に遅れたり、出場しないとき。

④応援態度が悪質な場合も失格となることがある。

⑤当日の計量により規定の制限体重を越えているとき。(空手衣を着用し2kg以上超えた場合失格)

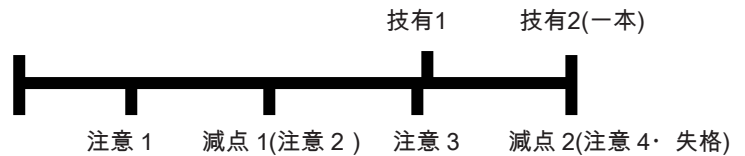
⑥申告体重と計量体重に5kg以上の差がある場合、失格もありうる。

⑦反則により相手が試合続行不能になったとき。

⑧試合中(主審が試合終了の合図を行う前までに)嘔吐した場合。

10. その他 判定に対する抗議は一切認めません。

審判判定基準(図解)



$0 \leq \text{注意1} \leq \text{注意2} \leq \text{注意3} > \text{注意4}$	注意差1の時は最終延長以外判定に影響しない。注意4になった時点で失格
$0 > \text{又は} = \text{注意2}$	注意差2の時は基本的に負けだが、8:2以上の試合内容で引き分けとする。但し最終延長では負け
$0 > \text{注意3}$	注意差3の時はどんなに試合内容でリードしていても技有りを取らない限り負けである
$0 > \text{注意4}$	注意4になった時点で失格
$\text{注意1} > \text{又は} = \text{注意3}$	注意差が2なので基本的に負けだが、8:2以上の試合内容で引き分けとする。但し最終延長では負け
$\text{注意1} > \text{注意4}$	注意4になった時点で失格なので相殺されない
$\text{注意2} > \text{注意4}$	注意4になった時点で失格

$0 < \text{技有} + \text{注意1} \leq \text{技有} + \text{注意2} \leq \text{技有} + \text{注意3} > \text{技有} + \text{注意4}$	注意差1の時は最終延長以外判定に影響しない。注意4になった時点で失格
$0 < \text{技有} + \text{注意2}$	注意差2でも技有りがあるので勝ちである
$0 < \text{又は} = \text{技有} + \text{注意3}$	技有りにより基本的に勝ちだが、8:2以上の試合内容で引き分けとする。但し最終延長では勝ち
$0 > \text{技有} + \text{注意4}$	技有りがあっても注意4になった時点で失格
$\text{技有} + \text{注意1} > \text{又は} = \text{技有} + \text{注意3}$	注意差が2なので基本的に負けだが、8:2以上の試合内容で引き分けとする。但し最終延長では負け
$\text{技有} + \text{注意1} > \text{技有} + \text{注意4}$	注意4になった時点で失格
$\text{技有} + \text{注意2} > \text{技有} + \text{注意4}$	注意4になった時点で失格

キリトリ

団体責任者様へ 大会出場申込書と共に、本総括表をご提出下さいますようお願いいたします。

出場申込書 総括表

代表者または支部ご担当者の印をお願いします。

団体名	支部名
代表者名	ご担当者(役職)
	印
	印
書類等送付先住所(〒))
TEL	FAX
メールアドレス	
出場者数	名 × 6,000円 計
	円

申込書送付先: 〒321-0968 栃木県宇都宮市中今泉 1-18-1-603

全関東大会事務局 担当 高萩

お問合せ先: TEL(FAX) 028-688-7855

申込み締切 平成 29 年 4 月 16 日(日) 事務局必着 切厳守!